**UNOSDP ユースリーダーシップキャンプ2016東北大会**

**UNOSDP　Youth Leadership Camp (YLC)**

**ユースリーダーシップキャンプ**

開発途上国の各コミュニティにおいて、平和と開発へ向けたスポーツの活動に従事する18〜25歳の若者を対象にリーダーシップ教育を行う。参加者の構成は国籍のバランスに加え、世界人口構成比を勘案し、女性の参加者が50％以上、障がいを持つ者が10%以上となるような配慮がされており、それぞれの社会的立場や経験、文化的背景を認め合い、その多様性を活かしてお互いに学び合うことを重視している。プログラムはリーダーシップ・コミュニケーション・ソーシャルスキル等実践的な技術や平和・障がい者理解・社会統合・教育等のトピックに関するレクチャーと、様々な種類のスポーツ活動実習で構成されている。これまで、2012年1月Doha（カタール）、6月Hennef（ドイツ）、10月Macolin（スイス）、 2013年1月Doha、5月Macolin、 6月Stockholm（スウェーデン）、8月Gwangju（韓国）、2014年1月東京（日本）、3月Berlin （ドイツ）、6月Florida （アメリカ）、　8月Stockholm、Gwangju、2015年2月Gwangju、3月宮城 （日本）、4月Berlin、5月Medellin（コロンビア）、6月Bradenton（アメリカ）、9月Boson（スウェーデン）、2月Pyeongchang（韓国／予定）で開催しており、今回の東北大会は20回目にあたる。



**The United Nations Office on Sport for Development and Peace (UNOSDP)**

**国連 開発と平和のためのスポーツ事務局**

国際連合欧州本部であるジュネーブに本部、ニューヨーク国連本部に支部を持ち、国連事務総長・特別顧問のWilfried Lemke氏（2008年4月〜）がトップを務める。スポーツを通じて国連ミレニアム開発目標（MDGs）を達成すべく、主に男女平等、子供・若者育成（ユースリーダーの育成を含む）、社会統合と人権（障がい者を含む）、開発（特にアフリカの最貧地域）、平和構築と紛争解決（特に中東地域）に取り組んでいる。また、会議・報告書・国連決議・普及啓発・広報・ネットワーク構築等の活動によって、スポーツを手段として活用することの理解・促進を図ると共に、関係者間の対話・知識共有・コラボレーション・パートナーシップ構築を促進することにより、分野を横断した対策を講じている。